伊勢物語　2冊　WA7-238　01-001
国立国会図書館

WA7
238

書
15.2.10
国会図

伊勢物語　2冊　WA7-238　01-002

国立国会図書館

むかしおとこうゐかうふりしてならの
京かすかの里にしかよしさしてまかりて
いにけれはうのさとにいとなまめいたる女
ありけるをこのおとこかいまみてそ
けわおもはしすまるにとてりいまりした
ひとくそありけれは心地まとひて有しまわ
男のきさわれ所かりきぬ乃ひうをき里て
うつ鉄の鉢をあるうちおとこ志乃ふ日里
係かわきぬをなむきたわけ歌

かすかのくわのむらさ花乃すわ衣
志乃ふ此君を飛ゝ事わ志らしを
とな事をいつきていひやわれ所ひいて
おもしろきすともやおもひけん

伊勢物語 2冊 WA7-238 01-003
国立国会図書館

伊勢物語　2冊　WA7-238　01-004
国立国会図書館

伊勢物語　2冊　WA7-238　01-005
国立国会図書館

世よしおとこあわゆわけはうしゆる女
乃もとにひしきもといふ物を取るとて
忍ひあらはすくるの者よ祢もしなん
ひしきもれよハうるを志ほくも
二条のきさきのまさみかとりもつかり
まつわ給りてくさ人にておりしゆ敷とき
のことなり

伊勢物語 2冊 WA7-238 01-006
国立国会図書館

むかし東の五条有りおほきさい社宮たり
りけるしれ事しあるいはむ日と御里
家わうまをほいはるをあらそ心さしぬ
かゝ里をうへ人行とふひけるはむ月の十
日りかゝ濃かとりほりにかゝ神はかわ
あわ所ハきけと人儀遊よかふへ家とこ給
まもあらさ里れれたなを守し此おもひ
法ゝなんあわけるゝのとし乃む月小梅
乃花さかわりこうをこひていさてよら

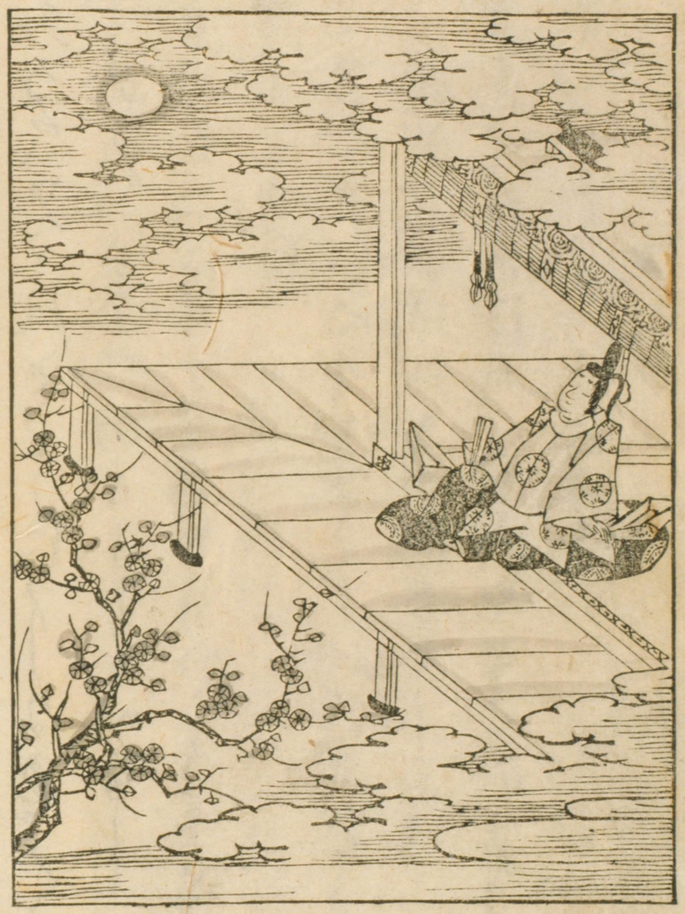
てみゐて見ゝれとこうにりる色くも
何しれうちふおてあはらなる以るしき
小月のかゝふくまてぬせわてこうをさる
いそゝよめ所

月やあらぬ春やすゝ此はるならぬ
我身ひとつハもとの身にして

とよみて夜乃ほ乃ゝ此あらぬ有り
明くゝかへわは家わ

伊勢物語 2冊 WA7-238 01-007
国立国会図書館

伊勢物語　2冊　WA7-238　01-008
国立国会図書館



伊勢物語　2冊　WA7-238　01-009

国立国会図書館

伊勢物語　2冊　WA7-238　01-010
国立国会図書館

伊勢物語　2冊　WA7-238　01-011　国立国会図書館

伊勢物語　2冊　WA7-238　01-013
国立国会図書館

伊勢物語　2冊　WA7-238　01-014
国立国会図書館

とわれ木陰かけにおりゐてかきいひくひ
雪わかれはハよかきはたたいへ　おもし詠
くさ見てわかれを見てあり人のいたくか
きはハたやいふいつもし我くろかんにを
負てこひの心をよめといひけれたよめ所
　から衣きはつゝなれにしはまゝあまハ
　も戯くきぬうをひ切しせ思ふ
とよめわれ物ハこれ人をきいひのうんに
涙おとしてなとひけり　雪わ

ゆゑくてはうかのくにゝいまゐぬうは乃
山にいたりてわりけるゝ我を以
やくらうをうきふつたかゝ庵てハ志者わ相
心ほうくすゝろ家ゐ我ゐることゝ思ふ
ふを行者あひたわかゝほうちをいてかいま
寸ゐといふを見れハこゝ人なわけわ京
にうれ人のゆもとにとてふ見かきてはく
するかなうは乃山里のうつゝ不も
夏にもひとにあるぬなわ家わ

伊勢物語 2冊 WA7-238 01-016
国立国会図書館

伊勢物語　2冊　WA7-238　01-017
国立国会図書館

伊勢物語　2冊　WA7-238　01-018
国立国会図書館

伊勢物語　2冊　WA7-238　01-019

国立国会図書館

みよしのゝ山れむ乃かわもひたゝに
夫のかゝりうらうれなくふ所
せこうねかへし
我かゝによ所と明くふる見よりしれく
たのむ乃ふり我いつのわをきん
心なん人儀くにてもなをかゝ事なせ
やまさわ乃数
せよしおとこ女ほまへゆよ乃所りとも
よらともにみらよわいひおこせ乃数

わけくふよかとハ雲ゐよなわぬとも
うらけ月のめくわ女ふまて
着おとこ河里ゆわ人乃むもめをぬけ見て
せきし野へ井てゆくわと小ぬ寸人
なわ乃きハくまれ見にうゝめ雅称有
ゆわ女をハくきむらの中り我業に
けよ乃わうちくる人こ乃野そ如け日と女
ふわとて火ほ乃んとすをん ふまひて
むさし野ハ乃ふハふやなうかりくさ乃

伊勢物語 2冊 WA7-238 01-020
国立国会図書館

伊勢物語　2冊　WA7-238　01-021

国立国会図書館

伊勢物語　2冊　WA7-238　01-022
国立国会図書館

伊勢物語　2冊　WA7-238　01-023
国立国会図書館

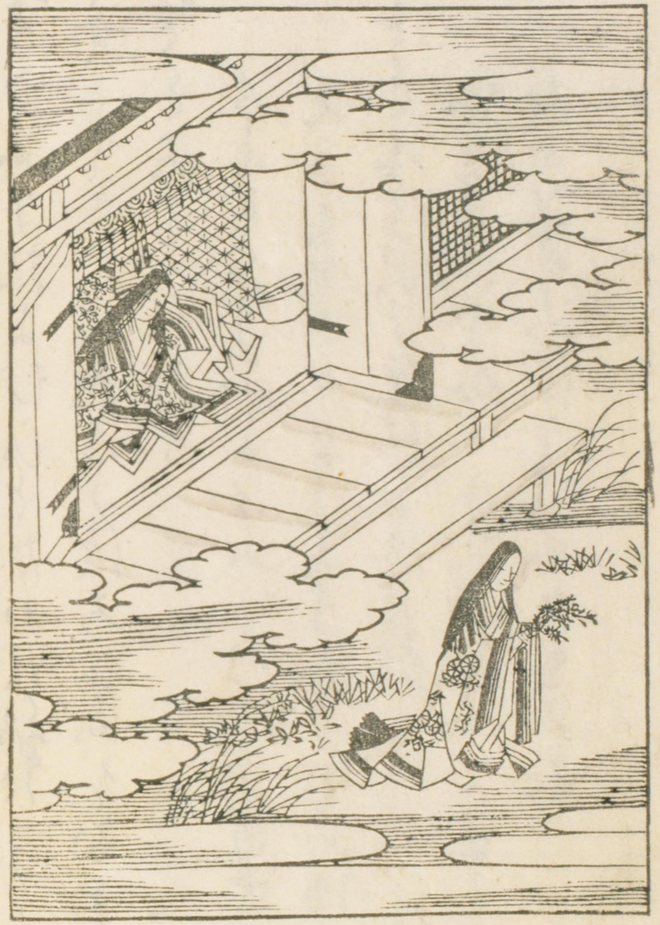
伊勢物語　2冊　WA7-238　01-024　国立国会図書館

き事こうふりは秋今ハとゆく秋いま
あはれと思はれ此まつしは秋ハすゝわ
さもなかわ事わおもひ至ひて祈んこ詞
可あひかたらひは歌ともうちのもとに
かりくいまゝとて雨かりを明りこと
も以さゝかなりことも元勢ハ寸こ
とくか業をおくに
て我おわてあひみ志をかうふ秋は
此たと以ひ使ゝよ法ハへり者わ

かのともうちこれを見ていまあはれと
さるてらのもはまてをくわてよめ歌
年たまもと我とてよ法りへ小は歌を
以ゝひきゝをたゝきぬらん
かくいひやわはれた
これ居られあまれた衣むへしこう
天のみけし此たてまつわは
よろこひ可ゑへて又
秋やくる一遍やまかふと思ふまて

伊勢物語 2冊 WA7-238 01-025
国立国会図書館

伊勢物語　2冊　WA7-238　01-026
国立国会図書館



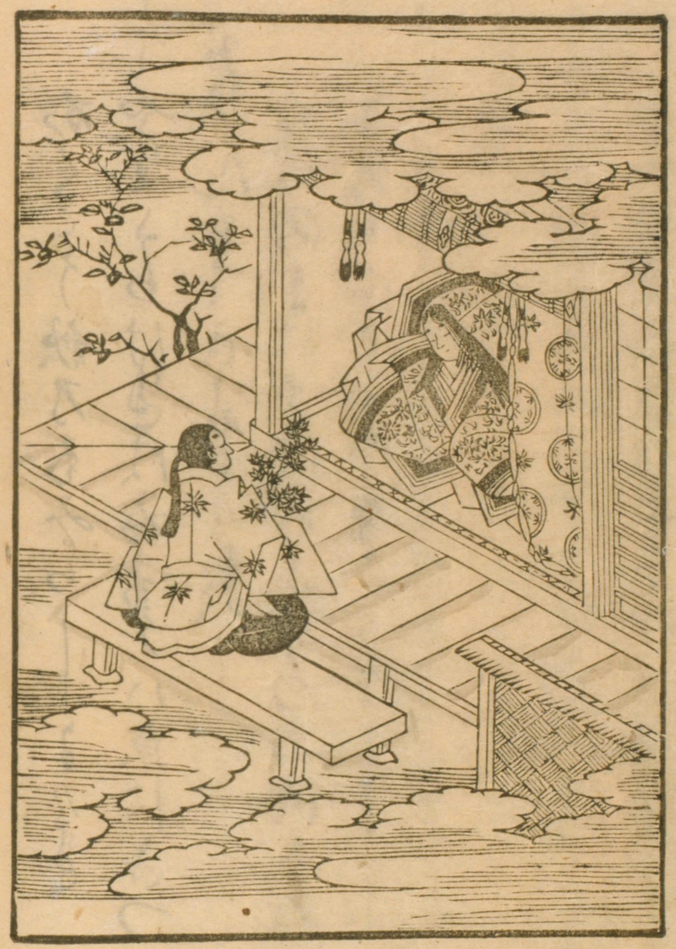
伊勢物語　2冊　WA7-238　01-027

国立国会図書館

わかゐる山乃かせをやこなわ
とよめわけるそみおやこ御人となん
以ひ人歟
すゝし男やまとにある女伝見てらひて
あひよ思わさてをとへて宣ほかんけり人
ふわけれたかつりくるこ我小やよひりわ
可かえておもみらの以とおもし河きを
おわて女乃もとにこちよ里いひ居る
夫かゝ見るお神るえたそ歟なから

かくこう秋乃もみらしよ人
とてや里さわけれは西事ハ京にきつた
てなんもてきるゐ人歟
いほのまにうほろふいろ乃ほきぬ説
きゑゝ市とよそ春ふりらし

伊勢物語 2冊 WA7-238 01-028
国立国会図書館



伊勢物語　2冊　WA7-238　01-029

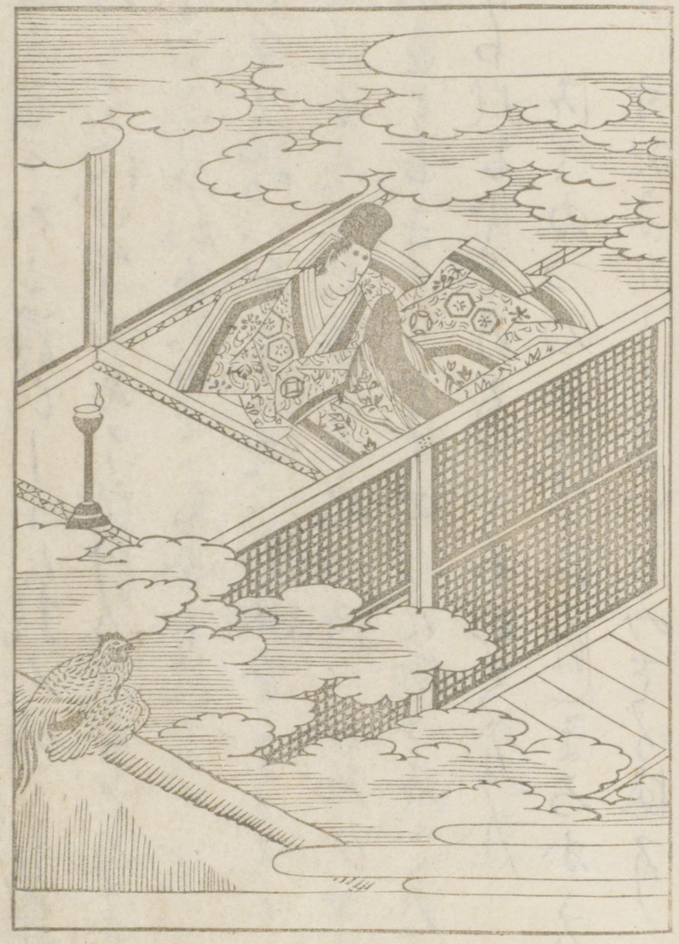
国立国会図書館

おわしぬを眼りしよわてゝかゝらんと
いはゝいてうなよていはかゝりもとめ遊
うんとゝとにいてゝとみかう見ゝ侍
此いつこをりゝわと我おほえさわ侍人
かつりいわて
おほふひなよ世なわ事也し月城
あるすちおわてをまやしはし
此いひてなるめをわ
人を伊さおもひ有すらんたゝかはら

おもゝけす乃ゝ此とゝ見えけゝ
これ女以とひさしくあわてね世しかひて
まやかりけ世いひをこせる所
今ハとてわけうゝくさ乃ゝ祢をゝ小
人儀ん有しはゝきれもゝ那
返し
を寸まくさうふとたまきく物なら也
おもひ分わとハ志里もしあまし
みくあわしらわれ小いひかりして男

伊勢物語 2冊 WA7-238 01-030
国立国会図書館

伊勢物語　2冊　WA7-238　01-031　国立国会図書館



返し

あきはよのちよ故一夜に限せわかも
こゝろ乃こ里てとわやなれなむ
いるすしへよわもあいはしかりてなん
かすひは歟

伊勢物語 2冊 WA7-238 01-032
国立国会図書館

伊勢物語　2冊　WA7-238　01-033
国立国会図書館

けて心しこゝ侍ゝるをとに女おやなくた
よわ所くなまゝ小もろともにいふひ
所くそあらん屋ハとてかうち乃くにた
かやすのこゝわりいきゝふ所いてき
にゝわさわゝれとこほもと此女あしと思
へ家しきもなくていうしやわけは
男こと心がわてかなりやあらせとおもひ
うこかひてをせさいのなかりかく神
のそかうちへいぬるかかにて見せそこ此

伊勢物語 2冊 WA7-238 01-034
国立国会図書館

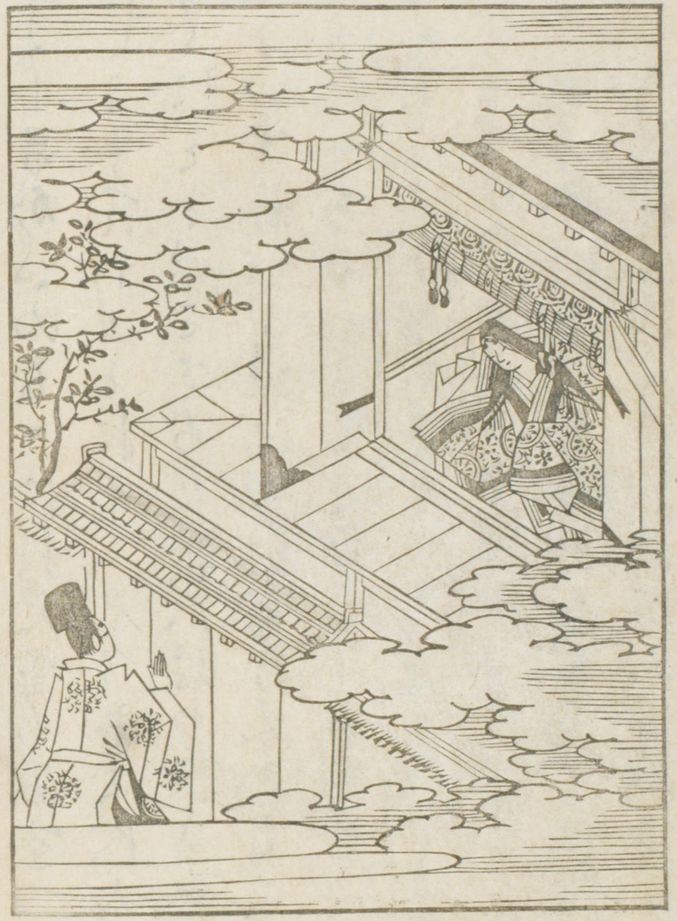
伊勢物語　2冊　WA7-238　01-035

国立国会図書館

伊勢物語　2冊　WA7-238　01-036
国立国会図書館

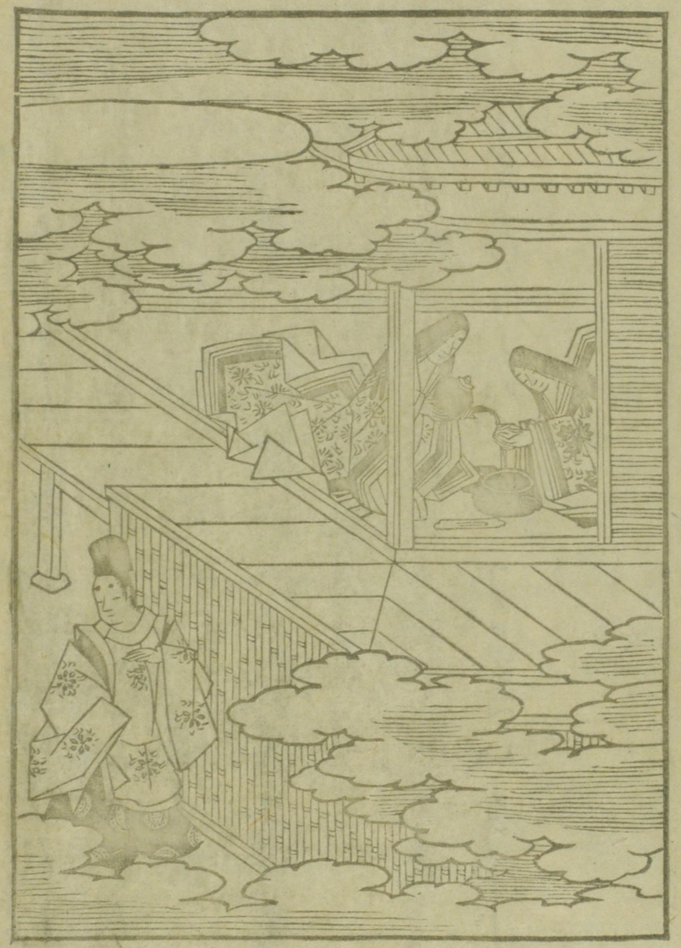
せうし男がこゝゐなゝにはゝ見せわ男室つか
匿しよとてわりをおし見て遊よにはる
まくにこと勢こさわは稱へはわひさわけ
海よいや祢むこ絵にいひ者る人ふこよひ
何りんとちおわさりは海ゝこゝ乃男きた
里はわこ乃とあけをまへ也さて記はをや
何をてうゝ我なんよ見そいさしまわは海
あゝ玉の年乃ことせをすちまひて
さゝこよひこうにみすくる頃を

伊勢物語 2冊 WA7-238 01-037
国立国会図書館



伊勢物語　2冊　WA7-238　01-038
国立国会図書館

伊勢物語　2冊　WA7-238　01-039
国立国会図書館



かれなわ不ルに神ハ女此てあら姫所有
ぬき寸我うちや里てた羅ひのかけよ見え
ル数をミつから
王神ゆゑ物思ふ人ぞまるも何らし
とおもへハ身乃志たよもありあわ
此よむをこさ里ゆゑおとこさもきて
ミあくちよ家や見ゆらむ可ハつさん
水乃しさにてもろこ志ふなく

伊勢物語 2冊 WA7-238 01-040
国立国会図書館

伊勢物語　2冊　WA7-238　01-041

国立国会図書館

伊勢物語　2冊　WA7-238　01-042
国立国会図書館

きこえ給ふ所をおもひ出
つゝ
こもり江にうきてのみふるながめさへ
かはる袖のしづくにぬれそひて
井出の人波ことにてはうつゝ
せうとたちをおもひやりし
そいえよりそへ給はむ
心そとは有あけくれ
たのもなくて伊へ
[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

我なりて志たひもとくなかさゝ間の
ゆふかけ雨さぬ花よへ所わとも

返し

姫さわ志て世をひしはも我ひとゝして
あひ見うまてハとうしとそ思ふ
せうし紀社ありつゝ事りはきゝ流よあわ
米をうくきあるつゝよ見て居りけ歟
きゝ小よわ思ひならひぬ世の中乃
人をこゝ社を居こひといふ事

返し

ならな祢ハ世の人ことりなふをかも
こひとへいふ也ひしを神志も
苔西院乃見かとく申ハ見かとおりし
雨しけわうれこかとの所こゝかいこゝ
中可いまうかわけわうのみこう世殆ひて
おほんはふわ乃祝う此宮の此なわ女里
もうおとこ所ハふわ見んとて女車有り
あひ乃わていてゝ事もわいまひさしう

伊勢物語 2冊 WA7-238 01-044
国立国会図書館

伊勢物語　2冊　WA7-238　01-045
国立国会図書館

伊勢物語　2冊　WA7-238　01-046
国立国会図書館

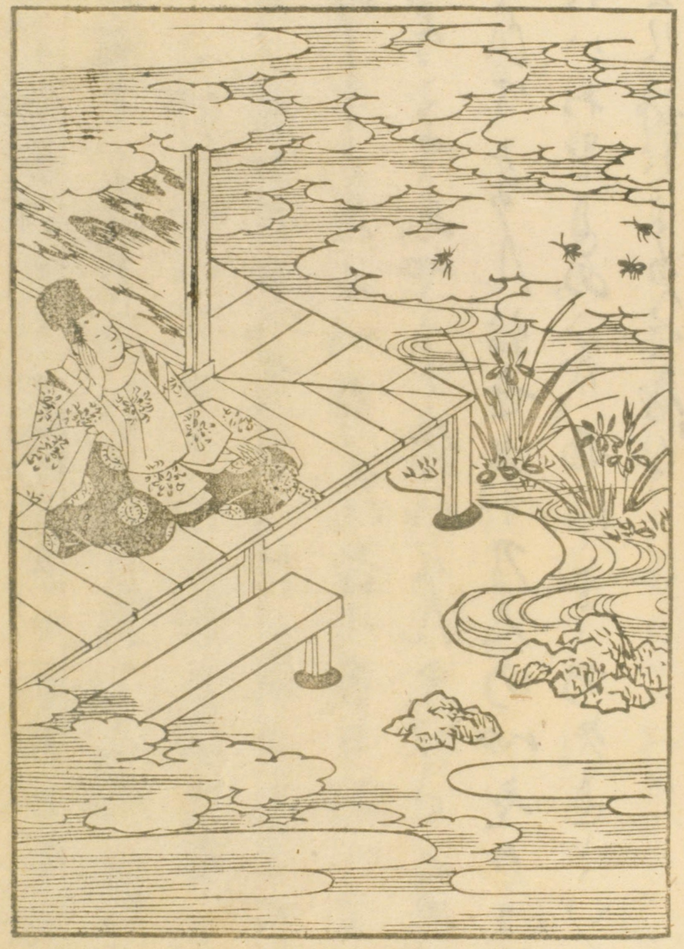
伊勢物語　2冊　WA7-238　01-047
国立国会図書館

伊勢物語　2冊　WA7-238　01-048

国立国会図書館

伊勢物語　2冊　WA7-238　01-049
国立国会図書館

伊勢物語　2冊　WA7-238　01-050
国立国会図書館



田夏かさ高雲の上まほいぬ色くさ
秋の野にくさふりすつけこせ
人神かさ記夏れはくろ志かの世れハ
うれことゝなくもれうかしな

伊勢物語 2冊 WA7-238 01-051
国立国会図書館

世の男いやうるはしきゆもあわ雪わか
た時さらはあひおもひ人數を人のくにへ
いさける後いやあるを神とおもひて和かを
可りかわ月日へてをこせる後ふゝにあき
南しくえる以めん數々月日のへ可
あるこゝ忘やし行ひけんやいさく思ひ
まひてなん侍世中乃人の心をめかは
神ハわををぬへ家物にこうあやをといん
里に神にうゑて居る

めるともおもわし明くにわ頃ら後に
ときしふれたおもかけに行
世のしおとゝ祢んこ後可いそと忘ふ女
ありけりさ是とこれおとこ後あるなわと
きてて後神なき乃こまき里ほゝ以へ後
おほぬさのひくて阿まるになわぬ共
おもへとえこうた乃海ゆわけを
返しおやこ
おかぬ市とゑにこうこてをあれても

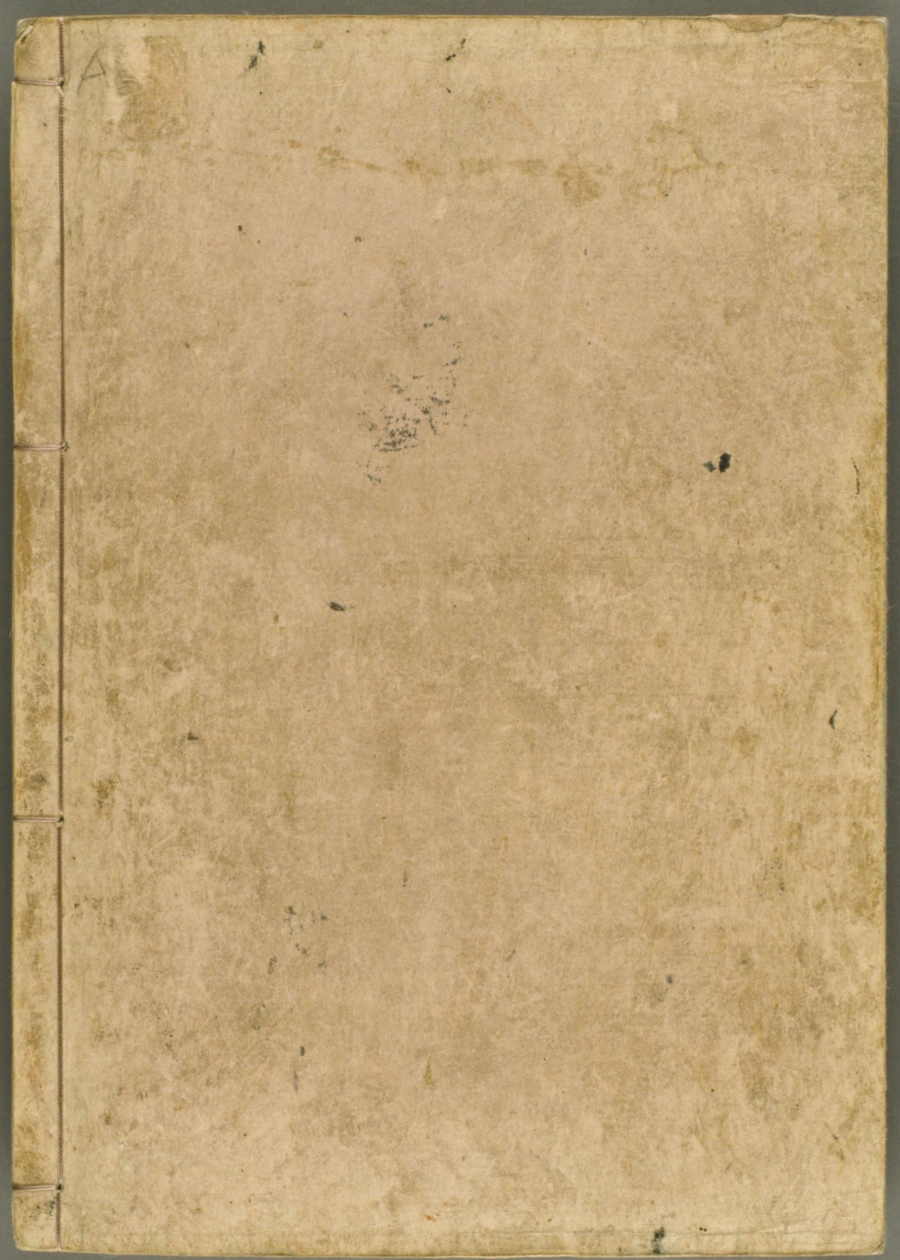
伊勢物語 2冊 WA7-238 01-052
国立国会図書館

伊勢物語　2冊　WA7-238　01-053
国立国会図書館

国立国会図書館

伊勢物語　2冊　WA7-238　01-054

国立国会図書館



伊勢物語　2冊　WA7-238　01-055
国立国会図書館